

日伯新聞

Caixa No. 375 Phone. 2-3926

我等も革命を

特に聖市邦人社会の...

ブラジルは革命を遂行して成...

前政府の暗黒面審判の爲

臨時革命裁判所設置

政治犯並に公金使途の調査を行...

歳費をばき出された

買収議員六十三名

其三分二は回収不能

総額二千二百餘コントス...

高岡専太郎...

淋しく流刑の途に上る...

ワシントン前大統領...

東京驛のブラットフォームで...

濱口首相狙撃さる...

犯人は直ちに逮捕...

三名...

ジュリオ氏は英國旗下に...

弾丸は右下腹部に命中...

外務大臣第五四一號至急情報...

要する事勿論に付十五日外務...

或人への手紙...

CASA TOZAN MIZUKAMI & CIA. COMMISSARIOS. Rua Cidade de Toledo No. 25. Santos. 珈琲コミサリオ カーザ東山

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD. (THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.) RUA DA Candelaria No. 28. CAIXA POSTAL 380-RIO DE JANEIRO. 横濱正金銀行支店

Hotel Carlton ESPECIALMENTE PARA FAMILIAS. Rua Libero Badaró, 26. S. Paulo. Tel. 2-2956

F. S. Hampshire & Companhia Ltd. S. PAULO: RUA ALVARES PENTEADO, 21 SOB. SANTOS: RUA 15 DE NOVEMBRO, 147 SOB. 若狭丸



# 煙草の話

その六

加里肥料 草木灰は加里及び石で作り、後に外に出して乾かす。灰を含むがため用ひられてくる。近年硫酸加里の需要も著しく増してきたが、比較試験の結果では品質及び収量共に草木灰が最良で硫酸加里に次いでである。

加里は肥料力に關係があり、加里肥料を施したものは然らざるものに比べて乾燥時間が長いものである。且つ芳香を増し又耐病性を増加するものである。従って加里成分に乏しき煙草は従来通りに刈り取り、乾燥させる。

●煙草の施肥量 以上は煙草の栽培と肥料との關係に就いて概略を述べたに過ぎない。その要するが、當州では栽培技術に於て未知の點多く、大體参考のため肥料の配合例を示す次の如きものである。

一 エクスターナル肥料  
堆肥 五〇〇斤  
草 木 灰 四〇〇斤  
硫酸加里 二〇〇斤  
硫酸アモニウム 二〇〇斤  
過磷酸加里 二〇〇斤

●葉煙草の乾かし 葉煙草の乾かしは到底徹底しない事が多く、要するに煙草の乾かしは単に水分を蒸発する事だけでは不十分で、複雑な物質の變化、即ち醗酵作用が伴ふものである。この方面の巧拙は煙草の品質の良否に影響し、極めて大で、單に理論だけで實際と符合せぬ場合があり、充分な注意と熟練がなければ良質の煙草を作り出す事は出来ないものである。

一般に乾かし方が急激に過ぎると徐々に化學變化が進まぬため醗酵作用が不充分となり、色が暗く又品質も劣つたものが出来てくる。大體乾かすの方法としては自然乾かしと火力乾かしとに大別する事が出来る。

●自然乾かし 自然乾かしとは、自然乾燥をさうするの云ふても全然外で乾かすの云ふては、黄変作業は乾かすの室内で行ふ。

風通しをよくして湿度を去るか又は場合に依り湿度を少なくする。元來葉の乾かしは割合速いが、葉脈の下部から三分の一のあたりを指して曲げ折れるならば既に黄変作用が終つたわけになる。第二の變化に移つてからは之に反して前より少し高く乾燥する。之は乾かす法の必要條件である。

●通例乾かすの續いた天氣で收穫したての葉は七五—八五%が水分で、残り一五—二五%が有機物及び灰分であるが、之を完全に乾かす場合は水分は二—一八%となるのである。若し乾かす後水分の量が二—三%の場合には葉は脆くなり、醗酵にも不適当で、品質不良のものが出る。又反対に水分が多過ぎる時は保存力がない。微が生え易くなる虞れがある。今重量より乾かす場合は、乾燥室の大きさは栽培面積に平均七五乃至八二%の重量を減らす。例へば一本の株より効果十二枚を收穫して、その生葉の目方二斤乃至二五斤とすれば乾かす時の大きさは栽培面積に五〇%となる。

●乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。

在動手當、妻加修と可成りの費用がその調査報告に化れるのであらうから、そう安々と人民の目方二斤乃至二五斤とすれば乾かす時の大きさは栽培面積に五〇%となる。

●乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。

●乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。乾かす室の大きさは栽培面積に五〇%となる。

山下 藤太郎商店

## 農事相談

●農事相談 農業者の「煙草の話」掲載を機に、本稿のみに限らず一般農業に関する紙上相談を開始致します。御質問、御相談に對しては、動業部は其他専門家の責任ある回答を掲載します。宛封筒の上書には「農」と朱書きして下さい。

## 調査の公開

●調査の公開 學者は書籍をのぞかれる事をいやがる。頭の中種本を見通される程不安のためだとも云ふ。それはそれで、在伯官憲、組合、會社等の調査があつたら、死蔵せられたのは實に惜しい。尤もクラナイのも多からう。

**日本金買入れ**  
ビネイロス、コンメルシオ街十一A 電話七三二六二  
**松屋商店**

お菓子の福音 使ふて割のきく 喰べて美味しい  
**菱岩印醬油** 調味料の王  
是非御試しを  
ソロカバナ線オウリニヨス町 郵箱九十三  
**岩倉醬油醸造所**

明日の元氣のために  
今晚のお泊り宿は  
**白岩旅館**  
サンパウロ 一ノハラ  
カムベラ町 郵箱一九七

料亭 さくら  
御食事に、御清遊に、是非……  
ルア・セツテ・デ・セツテンプロ二二八番  
サントス

御料理 百三拾貳番亭  
吉廣義助  
ルア・セツテ・デ・セツテンプロ二二二番  
サントス

洋服の御注文は是非當店え  
迅速切  
**園部洋服店**  
園部 實 二一  
ノロエステ線ビルヂング町 郵箱二一九

Y. KINJO  
CIRURGIÃO DENTISTA  
Av. Condessa São Joaquim, 26.  
TELEPH. 7-5884 - S. PAULO

CLINICA DENTARIA  
R. Conde Sarzedas, 9 - Tel. 2-3029

院 醫 科 齒  
郎 一 眞 上 村  
九 スターゼルサ・デ・ヂンコ 市 聖  
番九二〇三二 話 電

**Sociedade Colonizadora do Brasil Ltd.**  
Rua Boa Vista, 11 - 8.º Andar.  
Tel. 2-1342 - Telg. Ijurengo  
CAIXA POSTAL, 2975 - SÃO PAULO

ノロエステ線チエテ移住地 四万七千アルケールス  
ソロカバナ線バスターズ移住地 一万三千アルケールス

双方共原始林の處女地帯、地味肥沃無比、珈琲其體雜作に好適  
今が絶好の機會です。地價アルケール七百ミル毎十アルケール  
スに付一コント二百ミルを前納すれば残餘は六ケ年の賦拂、間  
作物で容易く拂つてゆけます

移住地には日本人醫師、藥劑師も居り病院、學校、製材所、製米  
所其他の設備が完全してありますから入植後の衛生、子弟の教育  
等に就いては少しも心配ありません

尙詳細は組合本部又は移住地へ御照會下さい

**有限責任ブラジル拓植組合**

**Garage Congresso**  
Teleph. 2-0081

貸自動車は  
同胞運轉手の居る  
**ガラジ・コンクレツツ**  
ブラツサ・ジヨンメンデス  
電話二一〇〇八一。

は 理 料 菜 野 な 鮮 新  
**倍百味美で油醬出乃日**

商店向 (八十リットル樽詰) 其他  
家庭向 (二十リットル樽詰) 瓶詰

聖市 **中矢商店**  
電話二二二〇七番 郵箱二九九五番

ンシミーガンシ  
賣 販 次 取

最新式  
型 洋 服  
町 啤 啤  
期 限 確 實

店 服 洋 井 石  
(内店商保入)店支トスデレ  
任 主 崎 宮  
松 德 崎 宮

**社會式株船商阪大**

日本へ一番早く着く  
優秀な新造客船  
【命令定期毎月一回】  
○北米經由サントス日本間六十日に短縮  
○日本へ  
**フェノスアイレス丸**  
十二月十日サントス發  
十二月十二日リオ發

日本より  
**サントス丸**  
十二月十日サントス發

代理店  
**S.M.S. HOLDER BROTHERS & CO. LTD.**  
Rua do Comercio, 55 - Caixa Postal, 368  
S. PAULO - THEODOR WILLE & CO. LTD.  
Rua Libero Badur, 52 - Tel. 4-2225

○御歸朝客には神戸から御郷里の内地各港迄  
弊社特無賃乗船の特典を設けました。但し  
沖船行は各等九割引  
○日本より家族御呼寄贈貨支拂便法は左記へ  
御照會願ひます  
サントス駐在員 **酒 寄 守**  
Caixa Postal, 368 SANTOS



### 中島總領事の自決を促す

榮峰生

中島總領事は由來人村に乏しい所であるが、總領事館中島清一郎の如きは金の入つたタズであらふ不幸にしてこれを當てがはれたサンパウロに在る日本人の損害と迷惑は其形容と評價に苦しむのである。

サンパウロ總領事館は移民領事館である。通商貿易事務は、無と云つても過言でない。人間の出入り世話は商品と異り文句を云ふ。世話の焼けるものである。算盤が合はぬからと捨賣も効かぬが、ダンピングも出来ぬ代物の入れ出しである。従つて腹の据はつた人物でなければ仕事の出来る筈がない。小手先きの器用でまかされては在留民こそ、面の皮である。

幾代か領事を送り迎へしたが、彼中島位文句の絶えぬ代物を迎へた事は絶後であらう。而も始めから終迄これ味方をつけた人も空前だらう。

御人好し揃ひの總領事館は最初中島を買取つた。三井の支店長の古手商官總領事と云ふ。クでもない甚だ不名譽な彼の關係を余程の醜態に期待した。在留民も却て種々の此代物が、味な仕事をするかも知れぬと妙な所に期待を抱いた。それが悪かつた。矢張り商賈人の落武者文士の値は賤めなかつた。甚だ打白を振らせた。あつた。あつた。あつた。

つかぶす様にいふ氣になつて彼は鼻であらして百姓共何が出来るか、有象無象と高飛車を出て来た所を、そのらぬ御手先を、飲むだのや、油のめし、ペンで腹の出来たのが、ビシヤと一撃を喰はした。純物の彼へマの毒を幾回か打ち續けて居る。此總領事に配するに女房役の川西と云ふ女の腐つた様な、金貯密文書の加筆閲覧をなし、民族の年々公出線根性より外持合伸張の機を害する小田某の如き、さぬ代物が居る。自分の意見を、主眼する事も出来ぬ一家、唯々唯々、春風騎馬居士であつた。中島もいふ女房役を持つた。從つて自惚れるを得なかつた。中島の抑々のケチのつき始めは彼が着任早々の歓迎會からである。兩来な事する事一つとして、合資低價問題中島は自家の儲けを得る筈なく、机上の報告書から得る貧弱なる材料、唯々其の材料の出所たるや實に怪異に値するものに、彼一流の強がりの

大和袋から来る一件は未だ世間に公表されざる多くの経緯を蔵して居る。當時通關に就てサンパウロ總領事館が外交問題に立ち入つた越權の處置に出た。リオ大使館の御目玉を喰ひ、彼中島は自分の罪を川西に轉嫁し、始末書を送入した件から更に今村某が或る方面に債務を果さず、歸國したるに當り、策と授けて永井政務次官へ事を助け、自分の所業を隠蔽して其の報告書に加筆したる一件は、筆者の手中に證據書類を納め居る故何れも見て之を寫眞判にして公表する事にする。

低利資金の二回に亘る不始末、農業者に血の出るやうな運動資金を捻出さしめ、頼末に既知の所を、大使館から偽の一聲の不成立の公告を邦字新聞に發表されても、然として、更に頼る所なし。而も金融機關問題の地方補助機關たる産業組合なるものは、昨年十二月筆者總領事に面會し「日本の産業組合は君に成績續つて居ると思ふか、産業組合はブラジルでは駄目」と高言して置き、何の間に、何時の間に關係官憲に申請されて居る。

移民制限問題にせよ全く其の權を踏襲し、伯國に於てわざ／＼新聞公告を出して制限せずと主張し、母國新聞は在サンパウロ總領事より、着電を屬々しく發せしめ、正に在留民を痛罵する。其の行爲を繰返すもの、中島に果して公人としての誠意ありや否や。

一人としての中島が何をしよう、何と在留民を痛罵し、彼を如何に困らせよう、而も彼の金ピカ服は伊達ぢやあるまい。總領事として位階を忝し、在留民の罪を列挙し、彼の不適の振舞を、彼中島の自決を迫るものである。

傳家の秋水、腰間に在り、吾等の筆は折るゝまで、彼と戦ふ一度立たんか彼を再び立たしめざる事易かり。中島清一郎、此の杯を受けよ。

母國雜誌に公表された

「沈思」

今井白鳥

向日葵の花  
花咲く小庭  
夕陽は亂れて  
よりそよよ  
わが影の佇し  
地に伸びし  
永遠に生きねば  
拙き生命も尊かり  
ひとり行きて  
もの思ふ  
向日葵の花咲く  
夕陽の小庭

「接吻」

氷河生

働いてゐる私の頭に  
そつと...近づいて  
熱い接吻をする者がある  
振返つて見たら  
太陽が笑つてゐた  
如の眞實。

「夫妻」

ある私信の一節

現在サンパウロに於ける看護婦(産婆)につき観察致し候に、慈善病院サカカキに居る佐々木嬢の如きは産婆の長を勤め、毎月三コトスより五コト

「接吻」

氷河生

働いてゐる私の頭に  
そつと...近づいて  
熱い接吻をする者がある  
振返つて見たら  
太陽が笑つてゐた  
如の眞實。



**加藤園寶卸**

位置 アラカトゥバ線サンタ・エルネスタナ  
珈琲成樹三十萬本收獲多し、珈琲カンナ其他のプランタソンに適する未開墾地及びパシコニあり

標高 海拔六百三十米突健康地  
支拂法 年賦拂 希望に依り分割賣却す

契約 照會其の他はサンタ・エルネスタナ在任の  
Eduardo de Góes Salgueiro  
或は渡邊幸雄宛申込まれ度し

**MINORU FUJITA**

Compra e Venda de Café e cereaes

Casa Tozan, Commissario de Café em Santos

Representante em Araçatuba, N. O. B.

Caixa, 67-A - Araçatuba - Noroeste - Tel, 66

**藤田實**

珈琲及び  
雜穀仲買

カーザ東山  
代理人

事務所並二倉庫  
アラサツベイ街八二一  
アグアツベイ街八二一  
電話 六六六番

**DUARTE & SALERNO**

RUA S. BENTO, 19  
SÃO PAULO  
Caixa Postal, 2182  
Telephone 2-6318

**寫眞機**

並に附屬品、材料一切は  
最も信用ある當店の  
直輸入品に限りませす

「アグフア」  
「インベリアル」印乾板  
「アラジル」  
「コダック」會社代理店  
「ドアルテ・サレルノ」商會

現像、修正並引延し  
新型録出來申込次第進呈

**A PREDILECTA.**

E SUAS FILIAES

Matriz - RUA 15 DE NOVEMBRO, 51-A

**FILIAES**

Rua Xavier de Toledo, 4 - Tel. 4-7444
Largo S. Bento - 2-5709
Av. S. João, 182 - 4-2250
Av. Rangel Pestana, 182 - 9-0746
Rua Itoby, 48 - 2-1554
Rua Libero Badaró, 19 - 2-1531
Avenida Celso Garcia, 742
R. Domingos de Moraes, 144 - 7-2886
Rua 11 de Agosto, 54-A
Rua da Moóca, 442
Rua São Joaquim, 118-A
Largo Anna Rosa, 2 - 7-2411
Rua Direita, 9-B - 2-2071
Avenida Tiradentes, 155 - 4-0712
Alameda Glette, 64 - 5-3473

**CASA DAS SEMENTES**

CARLOS CORRADINI

RUA S. CAETANO, 42 - SÃO PAULO

**新種子**

野菜、花卉、ムシア及び伊太利産アルファファ、ユカリ、麻、玉葱、コルザ、英豌豆等の優良種子が澤山到着致しました。

**Casas Gonçalves e Luso Brasileira**

Gabriel Gonçalves & Cia.

FUNDADA EM 1914

Rua General Carneiro, No. 35-53-55

Caixa Postal, 388 - São Paulo

金物類  
農具類  
瀨戸物類  
各種印刷  
各種鋼種  
各種銅種  
各種鉛種  
各種鋅種  
各種鐵種  
各種錫種  
各種鎳種  
各種鉻種  
各種鎢種  
各種鈷種  
各種鎘種  
各種鋁種  
各種鎂種  
各種鈣種  
各種鎂種  
各種鈣種

**Pharmacia Popular**

DE HOEPPNER & SILVEIRA

Av. Minas Geraes-Promissão - Caixa, 101

獨逸製  
醫療器具類  
農業用藥品  
藥品一般

**Pharmacia Santa Maria**

de José Fernandes

R. Oswaldo Cruz 71. C.P. 248. Tel. 97

ARAÇATUBA - N. O. B.

内外藥品  
一切藥品

**Fernando Hakradt Cia.**

Rua de S. Bento, 25, 2 and. sala 7

CAIXA, 948 - S. PAULO

Aduos Chimico

**Nitrophoska IG**

MARCA A B E

料肥學化  
印カスホロニ  
用樹果及排... B用菜蔬・タタバ... A  
に物作各ばれさ下談相  
すま上差を品るす應適

トラクッハ、ドンナルエフ  
會商

番三十二トシベンサアル市置  
八四九新電一寄號十路三

**F. Ambrosio & Cia.**

Rua José Bonfácio, 39

Phone 2-1298 - Caixa, 752

SÃO PAULO





# NIPPAK SHIMBUN

Jornal Japonês de maior circulação no Brasil

Ano XVI

São Paulo — Quinta-feira, 20 de Novembro de 1930

Num. 703

## Noticias e telegrammas do Japão

(Serviço especial do NIPPAK SHIMBUN)

### Tentativa de assassinio do Primeiro Ministro do Japão

O sr. Y. Hamaguchi gravemente ferido a bala por um reaccionario

Pelos telegrammas da "United Press" para os jornaes brasileiros soubemos o gravissimo facto occorrido em Tokio, com o primeiro ministro japonês, sr. Y. Hamaguchi. Facto esse que poz em perigo a vida daquelle brilhante estadista e politico.

#### O attentado contra o chefe do governo

TOKIO, 14 — O primeiro ministro Hamaguchi foi victima de um attentado, ficando gravemente ferido, atingido por uma bala numa coxa. O attentado registrou-se quando o presidente do Conselho se encontrava na estação da estrada de ferro, ás 8 horas, para ir assistir as grandes manobras militares.

Foi já restabelecida a identidade do criminoso, tratando-se de um joven de 23 annos, de nome Tomeo Sagoya, natural de Nagasaki. O primeiro ministro foi conduzido para o escriptorio do chefe da estação onde lhe foram ministrados os primeiros socorros medicos

#### As declarações do criminoso

O autor do attentado, de nome Tomeo Sagoya, ao ser preso declarou que pretendia matar o ministro Hamaguchi por o considerar unico responsavel pela crise economica em que se debatia, presentemente, o Japão. O ministro dos Negocios Estrangeiros, sr. Hidehara, estava tambem na estação da estrada de ferro quando se deu o attentado, tendo assistido ao acto de Sagoya. O aggressor utilisou-se de um revolver «Mauser», que disparou uma só vez, quando o sr. Hamaguchi se aproximava do trem.

O secretario do primeiro ministro conseguiu, rapidamente, desarmar o criminoso, evitando que o mesmo fizesse mais disparos.

#### O criminoso pertence a Associação Reaccionaria

O autor do attentado commetido contra o presidente do Conselho, de nome Tomeo Sagoya, segundo ficou apurado pela policia, nas primeiras investigações, é membro da Associação Reaccionaria.

E' bastante grave o estado do chefe do governo, ao qual já foram feitas tres transfusões de sangue

TOKIO, 14 (E.) — O presidente do Conselho, sr. Hamaguchi, hontem baleado, foi immediatamente transportado para uma casa de saude, onde foi tentada, pela primeira vez, sem exito, a operação de extracção do projectil.

O ferimento soffrido pelo primeiro ministro é mais sério do que a principio se pensou. De um filho do chefe do governo já lhe foi feita uma transfusão de sangue, tendo a victima voltado a si. Procedeu-se, então, ao seccionamento de 30 centimetros do intestino delgado do ferido, que apresentava 8 perfurações. A bala localisou-se na região pelvica, lado esquerdo.

O primeiro ministro Hamaguchi repousou algum tempo, depois de ter sido submettido a duas transfusões de sangue. Mais tarde, po-

rém, devido á fraqueza, consequente da grande hemorragia soffrida pela victima, foi realizada uma terceira transfusão de sangue e, sómente quando o estado do paciente o permitir, será tentada novamente a extracção da bala.

Os medicos manifestam a esperança de que o illustre ferido venha a restabelecer-se, a menos que sobrevenha uma peritonite.

Melhora o estado do presidente do Conselho  
TOKIO, 14 (U. P.) — O governo communicou ao imperador Hirohito que o primeiro ministro Hamaguchi melhorará sensivelmente depois de ter soffrido a transfusão de sangue e que o tinham removido para o Hospital Imperial ás 11 horas e meia.

A saude do presidente do Conselho  
TOKIO, 17 — O ultimo boletim medico annuncia que o presidente do Conselho, Hamaguchi, se acha, na opinião de seus medicos assistentes, fora de perigo.

Um telegramma do sr. Mello Franco ao chanceler do Japão  
O ministro das Relações Exteriores enviou o seguinte telegramma ao ministro do Estrangeiro do Japão por motivo do recente attentado de que foi victima o presidente do Conselho de Ministros do Imperio: "Acabo de receber com a maior tristeza a noticia do attentado contra s. ex. o sr. presidente do Conselho de Ministros e apresso-me em testemunhar a v. ex. em nome do governo brasileiro a emoção que esse facto produziu no Brasil e rogo-lhe queira apresentar a s. ex. o sr. Hamaguchi, os meus melhores votos. (a) Afranio de Mello Franco."

O sr. Shidehara na chefia do gabinete durante o impedimento do sr. Hamaguchi

TOKIO, 15 — Os membros do gabinete concordaram em que o sr. Shidehara occupasse o cargo de primeiro ministro interinamente, aguardando o restabelecimento do sr. Hamaguchi. O estado de saude do illustre enfermo é animador.

Na conferencia das Liga das Nações

Depois de varias discussões a sessão do dia 14 do corrente foi adiada para a proxima semana e antes de encerrar-a, o presidente da Comissão, sr. Loudon, exprimiu a sua repulsa pela tentativa de assassinio do primeiro ministro japonês sr. Hamaguchi. Ao mesmo tempo o sr. Loudon felicitou a delegação japonesa pela noticia de que, embora seja ainda grave o estado do primeiro ministro, depois da operação a que foi submettido, ha, entretanto, esperanças de que o illustre estadista se restabeleça.

O governo francez faz votos de prompto restabelecimento ao sr. Hamaguchi

PARIZ, 15 — O ministro do Exterior, sr. Briand, encarregou hoje o sub-chefe do protocolo, de transmitir ao embaixador do Japão, em nome do governo francez, e no seu proprio, as suas sympathias ao primeiro ministro do Japão, Hamaguchi e os votos de prompto restabelecimento do do ferimento recebido por occasião do recente attentado.

Louças, Artigos Japoneses e Nacionaes  
**K. NISHITANI**  
IMPORTADOR E EXPORTADOR  
R. Conceição, 88  
End. Teleg. NISHITANI  
Caixa do Correio, 1134  
RIO DE JANEIRO

## AVIAÇÃO

Fracasso do reide de Lena Bernstein de Paris a Tokio

A aviadora franceza Lena Bernstein, que deixara o aerodromo de Le Bourget sabbado ultimo, chegou a Roma de onde levantou vôo com destino a Athenas, rumo a Tokio. Tendo descido em Athenas em condições boas a intrepida aviadora continuou o reide com destino a Aleppo, porem, já perto de Bagdad uma panne no motor occasionou a queda do aparelho ficando completamente destruido. A aviadora recebeu ligeiros ferimentos.

A aviadora Bruce prosegue no reide Inglaterra-Japão

Telegrapham de Hong-Kong que, procedente de Twang-Chow-Wan, desceu naquella cidade a aviadora britannica miss Bruce. Aquelle piloto pretende levantar vôo com destino a Amoy.

## A super-produção textil

As limitações em vigor na industria textil

Devido a diminuição da exportação de tecidos para os Estados Unidos da America do Norte, os armazens das grandes fabricas japonezas estão abarrotados de stock, o que occasionou uma forte limitação na produção.

Por isso a associação dos proprietarios das fabricas de fição resolveu manter até o fim de julho de 1931 as actuaes limitações em vigor na industria textil.

## O Japão e a Liga das Nações

Conferencia do Desarmamento

Na reunião do dia 12 do corrente em Genebra, a conferencia preparatoria do desarmamento, continuou o debate em torno da limitação eventual do material bellico.

O chefe da delegação nipponica combateu a limitação directa reivindicando para cada paiz a liberdade completa de apreciação para a repartição de seus armamentos e declarou-se igualmente contrario ao systema de limitação orçamentaria. Todavia, a titulo de concessão o Japão accetteria uma combinação de dois systemas — a limitação por via orçamentaria e pela publicidade.

Os delegados da Rumania e o da Slovaquia rebateram tambem a limitação directa allegando que uma severa organização de "controlle" era inaceitavel pela maioria dos Estados, sendo apoiados pelos delegados da Russia, Canada, Grecia e Paizes Baixos.

Em vista do exposto pelo embaixador japonês será discutido na proxima reunião o mesmo assumpto.

## ORÇAMENTO PARA 1931

O gabinete approvou as previsões orçamentarias para o futuro exercicio

TOKIO, 14 — Em sua ultima reunião o gabinete japonês approvou as previsões orçamentarias para o futuro exercicio cujo total ascende a 1.448 milhões de yens. No projecto agora approvado a pasta da marinha caberão 210 milhões e ao exercito 188 milhões.

## Augmentando a marinha japonesa

Novo cruzador lançado ao mar

TOKIO, 9 — Foi lançado ao mar, nos estaleiros de Kobe, o cruzador «Mayn», de 10.000 toneladas de deslocamento.

A nova unidade, que é a 11.a em construcção das 12 autorizadas pelo recente accordo naval, será armada com canhões de 8 pollegadas.

Construcções navaes

TOKIO, 12 — Foi approvado pelo gabinete o projecto das substituições de velhos navios com a construcção de mais 4 cruzadores de 8.000 toneladas.

## Fallecimento do barão Den

TOKIO, 17 — Falleceu o barão Den, membro do Conselho Privado.

O barão Kenjiro Den, além de membro do conselho privado do Imperio, exerceu varias vezes o cargo de governador de districto, tendo sido em diversas occasiões indicado para as funções de primeiro ministro.

O extinto que gosava da fama de ser um dos technicos mais notaveis em materia de communicações, foi chamado por duas vezes a gerir a pasta de dellas se occupa, tendo exercido tambem as funções de vice-ministro da mesma pasta em diversos ministerios.

Tendo nascido em 1855, na provincia de Hyogo, foi escolhido para director dos correios dessa região, de onde transitou para a chefia do departamento das communicações do exercito japonês, por occasião da guerra com Russia.

Em 1920, o fallecido titular foi nomeado governador da ilha Formosa.

## Imigrantes japonezes

De bordo do vapor «Buenos Aires Marú», entrado de Yokohama e escalas, desembarcaram neste porto 302 imigrantes agricultores japonezes, que se destinam á lavoura no interior do Estado.

Por serem portadores de trachoma, a Saude do Porto impediu o desemparque de tres passageiros, de nomes:

Yoshitaro Adachi, de 40 annos, Thirusa Shina, de 52 annos e Toshio Oki, de 21 annos.

## Actos do novo Governo

Noticias Diversas

### A recepção ao sr. dr. Assis Brasil

As 16 horas de segunda-feira chegou a esta capital o eminente politico e leader do movimento revolucionario, sr. dr. Joaquim Francisco de Assis Brasil, ministro de Agricultura.

A sua chegada foi recebido por cerca de 200 mil pessoas que lhe prestarão mais do que uma homenagem, uma consagração.

Foi um tributo justissimo prestado a uma das mais elevadas figuras do momento actual, ao paladino intemerato que, sem desfallecimentos e sem fraquezas, desde a juventude, consagrada á propaganda republicana, até a robusta velhice de hoje, devotou toda a sua existencia, sem medir sacrificios, á predica dos ideaes democraticos, pela palavra e pela acção.

A consagração que fez o povo paulista á figura veneranda do batalhador infatigavel é a expressão de que nelle sabe ver o symbolo das reivindicaciones e aspiraciones da alma brasileira, hoje a caminho da realisação.

O dr. Assis Brasil seguiu, em trem especial para o Rio de Janeiro onde tomará posse da pasta de Agricultura, Industria e Commercio.

### O Japão reconhece o novo governo Brasileiro

O sr. Eishiro Nuida, Embaixador do Japão, deixou no Itamaraty, a seguinte nota de reconhecimento do novo governo do Brasil:

«Embaixada Imperial do Japão no Brasil. — n. 42 — Rio de Janeiro, 10 de Novembro de 1930. — Sr. Ministro:

Tenho a honra de accusar o recebimento da nota circular numero 586, de 3 de Novembro, pela qual V. Exa. houve por bem informar-me da transmissão dessa data, pela Junta Governativa Provisoria, do Governo da Republica ao Excellentissimo Sr. Dr. Getulio Vargas, que assumiu a direcção da suprema magistratura do paiz, como delegado da revolução victoriosa, confirmando outrossim, a declaração contida na primeira communicação, de 26 de Outubro ultimo, concernente os compromissos internacionaes contrahidos pelo Brasil. V. Exa. tambem me annunciou a nomeação dos srs. Ministros de Estado, assegurando-me ao mesmo tempo o desejo do novo governo de manter as relações de amizade que sempre existiram entre o Brasil e o Japão. Em resposta tenho o grato dever e a satisfação de levar ao conhecimento de V. Exa. que o governo Imperial, ao ser informado devidamente do que precede, instruiu-me nesta data para comunicar a V. Exa. que reconhece o novo Governo, presidido pelo Dr. Getulio Vargas, como o de facto, continuando a cultivar as relações de maior cordialidade que prevaleceram sempre entre as duas nações. Aproveito a oportunidade para apresentar a V. Exa. os protestos da minha mais alta estima e distinta consideração. (a) Eishiro Nuida.

**DR. S. TAKAOKA**  
MEDICO-OPERADOR

Rua Fagundes, 8  
Tel. 7-4683 S. PAULO

### A partida dos primeiros exilados

Começou á 12 do corrente o embarque no Rio de Janeiro, dos politicos que se encontravam refugiados nas legações estrangeiras e que agora se expatriam.

A primeira leva seguiu a bordo do «Highland Chieftain».

Esse navio destina-se á Europa (Londres e escala). Nelle embarcaram os seguintes deportados:

Irineu Machado, Juvenal Lamartine, Francisco Pessoa Queiroz, Oscar de Carvalho Azevedo, Pio de Carvalho Azevedo, Jurandyr Pires Ferreira e Mucio Continentino.

### A entrega do titulo de cidadão brasileiro ao general Miguel Costa

Revestiu-se de muita simplicidade, mas assumiu o caracter de uma sincera e significativa homenagem que lhe prestou o povo de S. Paulo, o acto da entrega, ao general Miguel Costa, do titulo de cidadão brasileiro, que o governo deposto lhe tinha cassado.

Foi o proprio general que, afirmando se ter esquivado sempre a manifestações de caracter solenne, em signal de respeito aos que tomaram na luta, quem pediu que se realizasse com a maior simplicidade a cerimonia. Isso, porém, não impediu que innumerables pessoas comparecessem ao Hotel Esplanada, para lhe manifestar sua amizade e admiração.

### Reconhecimento do novo governo

O governo provisorio Getulio Vargas continua a ser reconhecido pelos demais paizes. Apresentaram o seu apoio ao novo presidente mais os embaixadores do Panamá, Venezuela, China, Hungria, Turquia, Egypto e Guatemala.

## Economia

Sabe-se que o chefe do Governo Provisorio declarou que os seus vencimentos serão pagos com 50 % de desconto. S. s. manifestou o proposito de manter absoluta economia.

### A interdicção e occupação de todas as estações da Agencia Americana

Foi distribuida á imprensa, pelo gabinete director da Repartição Central dos Telegraphos, do Rio, a seguinte nota:

«O governo provisorio da Republica, tendo em vista a defesa dos interesses nacionaes, resolveu interdicar e occupar todas as estações de serviço da «Sociedade Anonyma Agencia Americana» a qual, além de outras faltas, não tem recolhido aos cofres publicos as quotas devidas e contractuaes do serviço radiotelegraphico que explora, em face de concessões anteriormente obtidas.

As estações que lhe pertencem, espalhadas pelo paiz, de Belém a Porto Alegre, são em numero de 16, em pleno funcionamento, além de outras já projectadas e prestes a trabalhar.

O governo afirma que, em caso semelhante, não tolerará essa como qualquer outra abusiva pratica, sentindo-se para isso devidamente fortalecido pelos anseios e dictames da consciencia nacional.

Foram assim, e por isso occupadas e interdicadas as referidas estações de Belém a Porto Alegre».

## O CAFE'

A Secretaria do Palacio do Catete forneceu á imprensa a nota seguinte:

«Afim de evitar interpretações tendenciosas a respeito da politica a seguir com relação ao café, o Governo Provisorio declara que, considerando o assumpto de importancia vital para o paiz, só levará a effecto qualquer modificação depois de convenientemente estudada, sem precipitação que possa modificar a situação do artigo, continuando, assim por enquanto, somente observadas as medidas estabelecidas pelos Estados directamente interessados.»

**DR. Y. KIKUCHI**  
MEDICCO

REGISTRO — IGUAPE

### Entre japonezes

Na manhã de sexta-feira passada quando dormia em sua residencia á rua Conde de Sarzedas, 93, o japonês Sigmoto Tanino foi chamado por seu patricio Kokito Tinny, residente na mesma casa.

Sabendo que Kokito era homem violento e não ignorando o motivo pelo qual era chamado, Sigmoto não o attendeu.

Attendendo, porém, a insistencia do chamado, viu-se obrigado a abrir a porta, sendo então agredido com um instrumento cortante, recebendo ferimentos na cabeça e no rosto. No inquerito instaurado Kokito negou que tivesse sido o autor da aggressão

**NIPPAK SHIMBUN**  
Propriedade e direcção de:  
**SACK MIURA**  
Redactor da pagina brasileira José Solé  
Redacção, Administração e Officinas  
Rua da Liberdade, 146  
Caixa Postal, 375  
Telephone, 2-3926  
Endereço Telegraphico «NIPPAK  
SÃO PAULO — BRASIL»  
ASSIGNATURAS  
Para o Brasil:  
Por anno . . . . . 30\$000  
Por semestre . . . . . 16\$000  
Numero avulso . . . . . \$500  
Para o Exterior:  
Por anno . . . . . 60\$000  
ANNUNCIOS  
Temos á disposição dos interessados  
uma tabella completa de preços para annuncios nesta folha. Telephone 2-3926